

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	平成 3 0 年 月 日
名 称	平成 3 0 年度社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議（第 4 回） 兼 第 9 次社会教育中期計画策定委員会		
日 時	平成 3 0 年 8 月 3 1 日（金） 1 8 時 0 5 分～ 1 9 時 3 0 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員 6 名 稲毛、仲島、和田、北向、高松、濱口 事務局 9 名 教育振興課長、社会教育班主幹、北川主査、谷主査、 長谷川主査、管野主事、轟木主事、菱川主事		
内 容	<p>教育振興課長 進行 稲毛委員長：今日はお疲れのところ、またお忙しいところありがとうございます。 本日第 9 次策定うへで皆さんの忌憚のないご意見をお願いいたします。</p> <p>委員長議事進行 1 報告事項 ① 平成 30 年度上川管内社会教育委員基礎講座（8 月 29 日 旭川市） 北向委員：上松先生は元中札内教育長で、元上富良野西小学校に教員でおられた方です。生涯学習、生涯教育、社会教育の 3 つの言葉が混在し、誤解して使用されている。生涯教育の中に学校教育と社会教育は含まれるものと説明された。その後グループ討議で社会教育委員とはどうあるべきか意見をだしながら話し合いました。参加者からは良かったという意見でした。</p> <p>稲毛委員長：質問等ありませんか。</p> <p>② 平成 29 年度社会教育関係事業（7 月～8 月分）及び 30 年度社会教育施設整備状況の実施報告について 北川主査：3～4 頁の社会教育関係事業及び 30 年度社会教育施設整備状況実績について説明（議案発送後に開催された事業の人数等も報告）。</p> <p>稲毛委員長：ここまでで質問等ありませんか。</p> <p>和田委員：7 月 22 日の天体観望会は、火星大接近があったが、天体ショーに合わせて開催できないか。</p> <p>管野主事：日は合わせてはいません。</p> <p>北向委員：7 月は過ぎていたし、前後 10 日ほどあるが天候や時間が難しい。</p> <p>北向委員：草分分館改修工事は草分防災センターか。</p> <p>谷主査：防衛施設局の調整交付金活用し、公民館として地域のコミュニティー施設を改修しました。</p>		

内 容

北向委員：トイレの様式化はウオシュレットつづのか。

谷主査：全部です。アリーナ側のトイレは和式で様式は男女1か所のみだが、全部様式化に改修します。来週から工事に入ります。

和田委員：アリーナ側のみか。

谷主査：アリーナ側のみです。事務所側と2階は今のままです。

稲毛委員長：ほかに質問等ありませんか。

③ 上川社会教育委員兼公民館運営審議会合同研修

北川主査説明：毎年開催しており、平成34年度は上富良野町で開催が決まっております。以下、開催要綱により説明。締め切り9月3日。

稲毛委員長：中富良野町で開催ですので、できるだけ参加をお願いします。

④ 社会教育中期計画について

眞鍋主幹説明：第9次社会教育中期計画策定についてご説明いたします。お手元の体系図素案をご覧ください。赤字は変更部分です。具体的な施策の青字は検討済みです。すでに変更したものです。教育理念から説明いたします。8次までは教育目標でしたが9次から教育理念に変えさせていただきました。これは教育振興基本計画として平成31年度から40年までの10か年、教育にかかる最上位計画で現在策定中で案がおおむね出来ています。自然豊かな上富良野で希望を抱き自らの夢に挑戦し実現していく人をはぐくむ。故郷への愛情と誇りを持ち共に支えあい社会に生き抜く人をはぐくむ床を目指す。ということで教育理念は「故郷に学び人が輝き人がつながる上富良野の教育」と考えています。8次のサブタイトルは設定していません。簡潔明瞭です。次の社会教育基本方針ですが、これは上富良野町の教育理念を基本としつつ、社会教育の分野では具現化に向けてどのような方策を持って社会教育を推進していくか、その方向性を示すものとなっております。ここでは第6次上富良野町総合計画かみふらの未来ビジョン。これは現在町でも総合計画を策定しており平成31年度から10か年計画ですが、かみふらの未来ビジョンとは前期基本計画5か年計画のほうで、その第4章に未来を拓く人をはぐくむ教育、文化の町ということで3つ、社会教育、スポーツ、文化芸術の方針が示されており、町の総合計画を踏まえ整合性を図るため以下3つの基本方針としております。1番目は、「町民一人一人に生涯わたる学習活動と豊かな心、健やかな体を育む環境づくりを推進する」これは教育理念を踏まえ生涯各期での学習活動の継続とさらなる活性化を目指すとともに人の心と体を育む環境整備の充実を目指します。2番目は8次と変わりありません。「健康づくりのためのスポーツ活動を推進する」これも教育理念を踏まえ、健康づくりに向けたスポーツ活動の継続と活性化を目指します。3番目も8次と同じです。「心の豊かさを育む文化、芸術活動を推進する」これも教育理念を踏まえ、文化芸術活動の継続と活性化を目指します。というものです。次に社会教育推進目標ということで、5つ明記しておりますが、社会教育基本方針に基づくと共に基本方針を実現するため今後取り組む具体的方策の目標事項として示すものです。これは北海道教育推進計画に基づく上川管内教育推進の重点、また第3次北海道生涯学習推進基本構想及び第2期北海道スポーツ推進計画を踏まえ、整合性を図りつつ5つの推進目標を設置しています。1番目は8次と同じですが、家庭と地域の教育力の向上を図り青少年の健全育成を推進する。家庭と地域の

内 容

教育力の向上、青少年の健全育成を主眼に置き計画実践することを目指します。2番目は文言を見直しています。社会で生きる力を身につけ持続可能な潤いのある地域づくりを推進する。生きる力と潤いのある町づくりの推進を主眼に置いて計画実践することを目指します。3番目、豊かな心と健やかな体を育むスポーツ活動を推進する。健康な体とスポーツ活動の向上を主眼に置き計画実践することを目指します。4番目、郷土を愛し豊かな創造を育む文化活動を推進する。郷土資料や文化財の保護、郷土学習への取り組み、文化芸術活動の持続を主眼に置き計画実践することを目指します。5番目、生涯学習社会の実現を目指す。生きがい環境づくりを推進します。ここは学習環境から生きがい環境づくりへ変更しております。各世代での学習活動の継続、社会教育施設の活用と充実、関係機関との連携と充実に置き計画実践することを目指すものです。続きまして、目標達成のための重点、これについては上川管内教育推進の重点と整合性を図り、重点項目6領域8分野17項目としております。まず6領域は1つは家庭の教育力向上、2つめ地域の教育力向上、3つめ生涯学習活動の推進、4つめスポーツの振興、5つめ文化の振興、6つめ社会教育の基盤整備、これは8次と同じです。次に8分野は領域の次の()書きですが8次と変わりありませんが、3つめの生涯学習活動の推進の項目で、読書活動の促進、現在第3次読書推進計画を策定中ですが、読書活動に力を入れるということであえてここに重点として入れました。具体的施策は変更した赤字を説明します。PTA 連合会に変更しましたが、規約の名称である父母と先生の会連合会に戻します。郷土資料の調査、収集、保存を新規に施策に明記しました。以上説明を終わります。

稲毛委員長：事務局の説明がありましたが、教育目標がすっきりしたのではないのでしょうか。これに関してご意見をいただきたいと思います。

眞鍋主幹：まず、上富良野未来ビジョン話だけさせていただきましたが、今もんでいる最中です。本来なら皆さんにお渡しするところですが、町のほうで微調整入りますのでまだお渡しできないですが、大項目第4章で学校教育も含めて4つは動くことがない。基本計画も合わせるため基本方針を3つにしました。

稲毛委員長：整合性をとったということですね。

北向委員：基本構想は議決事項だから、事前に出すわけにいかない。

眞鍋主幹：現段階で出すわけにいきません。

北向委員：素案や検討資料で見ことはできても、我々は口出しできない。審議会で付託されているから。総合計画策定委員会かけて議決する。

和田委員：議決されるのはいつ。

及川課長：正式な議決となると、6月に基本構想の議決は終わっています。最終的に議会の承認もらうのは、今議会でも特別調査委員で検討の段階ではありません。

仲島副委員長：基本構想で決まっていることは社会教育の基本方針は崩せないという話か。ここで諮問するのは、社会教育の推進目標から右の部分か。

及川課長：例えば基本方針の中でも、この言葉はどうかという部分はもんでほしいところがあります。

眞鍋主幹：先ほども言ったように、教育基本計画の中で、学校教育と社会教育に

枝分かれ、その前段の理念については事実上固まっていますので、実際に基本方針を皆さんでもんでいただきたい。

及川課長：基本方針以降の部分でお願いしたい。

稲毛委員長：基本方針も3つにまとめた文言等、ご意見があれば出してください。

北向委員：基本構想のところで中核をなす将来人口は議決されているということ。目標近郊はいつくか。

及川課長：基本構想の中では2つ数字を持っていて、予測値が9540人、目標値が10660人。

北向委員：今と200人しか減らさない。ということは社会教育の分野でも人口減を防ぐ施策を打っておかなければならない。教育分野に期待されることはないのか。

仲島副委員長：基本計画から我々の審議をするところで、基本構想については町ですること。

及川課長：町の人口ビジョンは国の計画の整合性からなっているので、少し高く据えています。

稲毛委員長：基本方針は3つにまとめたことも含め、ご意見があれば出してください。

各委員意見：長い。読んでわかりやすければいい。言葉が重複している。(自由発言)

稲毛委員長：最終的に、生涯学習社会の実現を目指し生きがい環境づくりを推進する。

眞鍋主幹：次の推進目標は、第3次北海道生涯学習推進構想で、社会で生きる力を身につけ持続可能な潤いのある故郷づくりを進める社会、とあるが、故郷づくりを地域づくりに変えています。もう1点、生きがい環境づくりは、生涯学習推進の根幹をなす取組として、生きがいづくりにつながる学習体験等の推進とあることから持ってきています。

各委員意見：環境は不要。生涯学習は生きがい学習ではない。目標として生きがいはあるが、職業学習として手段を学ぶのも生涯学習である。生きがいとは高齢者にあたる言葉のようだが若者にも当てはまる。(自由発言)

稲毛委員長：2番目は、社会で生きる力を身につけ持続可能な潤いのある地域づくりを推進する。はどうですか。

各委員：いいです。

稲毛委員長：目標達成の重点はどうですか。

各委員意見：父母と先生の会連合会は(PTA)を入れてはどうか。団体名と事業名が混在しているので、わからない人もいる。区別するため(団体)と入れる。後藤美術館と連携を入れてはどうか。民間の美術館だから町で事業をするわけではない、文連で行ってはどうか。(自由発言)

稲毛委員長：ほかに意見等ありませんか。

次回会議の日程

北川主査説明：次回会議を9月25日火曜日18時に予定しております。

仲島副部長挨拶：会議で意見を言わないのは参加していないと同じ。より良い会議のため委員長の進行に協力してほしい。お疲れさまでした。